

令和7年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（国語）

受験番号
中国語
氏名

注意事項

- 一 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 二 問題は、一ページから七ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 三 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 四 「終了」の指示があったたら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上においてください。
- 五 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 六 この問題用紙は、持ち帰ってください。

――第三学年において、「若者と読書文化」というテーマについて、自分の知識や経験と結び付けて、考えを表現する学習を展開するために、次の【A】～【C】の文章を教材文として用意した。生徒はまず【A】の文章を読んで、テーマに対する課題意識をもつた。その後、それぞれの内容を比較・検討するために【B】【C】の文章も併せて読んだ。後の「問一」～「問七」に答えなさい。

【A】

【B】

【C】

〔問一〕 線 a、d、eについて、カタカナを漢字に直して楷書で書きなさい。

〔問二〕 線 b「進歩」の対義語を漢字で書きなさい。

- 〔問三〕 空欄 c に当てはまる接続詞を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア つまり イ やはり ウ では エ さらに

〔問四〕 線①「何に対してもすぐに実利的な結果を求める」とあるが、【A】の文章ではどのような生き方を指すか、当てはまる一文の最初の三字と最後の三字を抜き出しなさい。(句読点を含む。)

〔問五〕――線②「言葉にできなかつた自分の体験の意味に気づく」とはどのようなことか、最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 実際に体験したとき鮮明だった思いや意味が、読書することで、価値化される」と。
イ 実際に体験したとき鮮明だった思いや意味が、読書することで、活性化される」と。
ウ 実際に体験したとき曖昧だった思いや意味が、読書する」とで、活性化される」と。
エ 実際に体験したとき曖昧だった思いや意味が、読書する」とで、一元化される」と。
オ 実際に体験したとき曖昧だった思いや意味が、読書することで、価値化される」と。

〔問六〕【B】【C】の文章は、「読書」をする意味について、異なる立場から考えを述べている。それぞれの文章において、「読書」がどのようなものとして書かれているか、百～百二十字で説明しなさい。

〔問七〕【A】～【C】の文章を読み終えた生徒たちに感想を尋ねたところ、生徒Dが次のように答えた。後の(一)、(二)の問い合わせに答えなさい。

自分も読書は大切だと思うので、【B】や【C】の文章は読んでいて納得できました。でも、【A】の文章の、若者全体の意見であるような、(一)あ(二)という部分については、本当にそなうのかなと疑問に思いました。



生徒D

(一)(二)に当てはまる部分を【A】の文章から三十字以内で探し、最初の三字と最後の三字を抜き出しなさい。

(二)生徒Dの感想に共感した生徒たちの反応を受けて、教師は資料(I)と資料(II)を提示した。これらの資料から、どのようなことを生徒に気付かせようとしたか、二つの資料からわかるところをもとに、教師の意図を書きなさい。

資料(I)

資料(II)

一一 第二学年において、古典に表れたものの見方や考え方を知るために、『更級日記』を中心資料として「月」を題材に学習を展開する。後の【問一】～【問五】に答えなさい。

〔問一〕この作品の作者を次のア～エから一つ選び、記号で書きなさい。

ア 藤原道綱母 イ 和泉式部 ウ 菅原孝標女 エ 式子内親王

〔問二〕――線①の和歌を詠んだ人物を主語とする記述はどれか、――線 a～d から一つ選び、記号で答えなさい。

〔問三〕資通が、――線②「思ひわづらひたるけしき」になった理由を書きなさい。

〔問四〕――線③「ふしなむ」を現代仮名遣いで書きなさい。

〔問五〕Aの和歌と次の現代短歌Bにおける「月」に対する作者の思いを比較する活動を設定した。
この活動を設定した意図を、「中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編」の内容を踏まえ、「月」に対する両者の思いに触れながら書きなさい。

三 第一学年「話すこと・聞くこと」の学習で、入学説明会で新入生に伝える「○○中学校の魅力」についてグループで話し合う活動を展開する。次は、授業を行う初任者が作成した【授業構想メモ】に、初任者を指導する教諭（以下、指導教員と示す）からの助言（付箋紙）を貼付したものである。後の【問二】～【問四】に答えなさい。

【授業構想メモ】

はじめに、単元で重点的に身に付ける指導事項を決めて、確認しましょう。「『A 話すことと聞くこと』オ 話し合うこと」ですね。

《単元の課題》
新入生に伝える「○○中学校の魅力」を決めよう。
単元の課題にも、生徒に分かるような言葉で指導事項を示しておくと、よいですね。

《指導計画》(全6時間)
第1・2時 話題を決め、自分の考えをまとめる
第3・4時 司会と書記を決め、グループで話し合う
第5時 話合いの結果を報告する
第6時 学習を振り返る

《本時の展開》(3／6時間目)
I a 本時のめあてをつかむ。
めあて：出された意見を整理しながら話し合い、新入生に伝える魅力を決めよう。
タブレットに記録した前時の学習記録を確認させるとよいですね。本時の見通しでは、生徒にどのようなことを意識させますか。

II 各自が考えた魅力とその理由を発表する。
・次時の話合いで確認できるよう、書記に話合いの内容をタブレットに記録するよう促す。

III b 意見を結び付けて、結論をまとめる。
生徒と発言する際のポイントを確認しておくことは大事ですね。司会の役割も確認しておきましょう。

評価項目：魅力を決めるために、友達の発言の意図を捉え、自分の考えに生かしながら話し合うことができているか。

評価はどのような姿をBと判断するか、考えておきましょう。Cの生徒には、どのような支援を行いますか。

IV 本時の学習内容を振り返る。

【問二】【授業構想メモ】《本時の展開》に対し、指導教員から「発言する際のポイントを確認しておくこと」とについて助言された。「中学校学習指導要領（平成二十九年告示）解説 国語編」「話すこと・聞くこと」Aオ「話し合うこと」の指導事項を踏まえて、発言する際のポイントとして押さえたいことを、簡潔に二つ書きなさい。

【問三】下線部b「意見を結び付けて、結論をまとめる」活動の様子が、後の資料にある【Aグループの話合いの一部】と【書記がまとめた話合いの記録】である。次の（一）～（三）の問い合わせに答えなさい。

- (一) Aグループの話合いの中で司会が果たしている役割として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。
- ア なるべく多くの意見を引き出せるよう、それぞれの主張を一つ一つ丁寧に取り上げ、全員に発言を促しながら進行している。
- イ 互いの立場からの発言を可視化して意見を整理できるよう、適切な資料を提示しながら進行している。
- ウ 異なる立場の発言から意見の共通点を見いだし、結論に導くために意見を調整しながら進行している。
- エ 結論としてどの魅力にするかを想定した上で、その結論を導く意見を取り上げながら進行している。

- (二) 【書記がまとめた話合いの記録】を確認した教師は、再度話し合う必要があると考え、助言することにした。助言すべき意見を①～⑤から一つ選び、選んだ理由を書きなさい。

(三) 本時は「魅力を決めるために、友達の発言の意図を捉え、自分の考えに生かしながら話し合うことができるか」について評価した。【Aグループの話合いの一部】の中で「努力を要する状況」(C)と判断される生徒をX～Zから一人選び、その理由を答えなさい。また、選んだ生徒に対し、どのような支援を行うとよいか、具体的に書きなさい。

〔問四〕授業後に、初任者と指導教員で本時の授業を振り返り、教師による学習評価の適切さについて検討を行った。指導と評価の一体化を実現させる観点から、ここで把握した生徒の学習状況を、次時以降どのように生かしていくとよいか、簡潔に二つ書きなさい。

【Aグループの話合いの一部】

司会 出された五つの意見から、新入生に伝える魅力を三つに絞ります。絞るための意見はありますか。

生徒X どれも○○中学校の魅力が出ているね。新入生に伝えたい順番で考えたらどうかな。

生徒Y ④の校歌については、伝えなくともいいと思うよ。

司会 何か理由はありますか。

生徒Y なんとなく、そう思つたんだ。

生徒Z 地域の行事には小学生も参加して聞く機会があるよね。あと入学説明会では、二年生が校歌を歌つて紹介するみたいだよ。

司会 では、④は外してもいいでしようか。(全員、うなずく)

生徒X ①と③は理由が似てるので意見をまとめられそうだね。

生徒Z たしかにそうだね。「学年関係なく仲がいいこと」でまとめられそうだよ。

生徒Y でも、意見を最後に一つにするなら、①の部活動の紹介がいいな。

生徒X ジやあ、せっかくみんなが考えてきた意見だから、理由として生かすのはどうかな。

生徒Y そうなると「学年関係なく仲がいいこと」を魅力にして、その理由が「部活動での明るい雰囲気」と「体育祭での先輩後輩の協力」になるね。

司会 では、①と③は意見をまとめましょう。②と⑤については、特に反対の意見がなかつたので、伝える魅力として残してよいですか。

【書記がまとめた話合いの記録】

< A グループで検討中の意見 >

まとめる

- ① 活気ある部活動
→優しい先輩がいる。どの部活も明るい雰囲気。
- ② クラスが団結する合唱祭
→練習時間が長い。声を出さない子がいる。
- ③ 先輩と創る体育祭
→先輩・後輩の関係なく協力できる。先輩と作った応援歌で一体感を得られる。
- ④ 地域にも親しまれている校歌
→覚えやすく耳に残る校歌。地域の行事で、大人も一緒に歌うことができる。
- ⑤ 使いやすい環境の図書室
→蔵書の数が市内で一番。司書の先生が整備した季節本のコーナーがある。

四 次の「問二」～「問四」に答えなさい。

〔問二〕次の□の熟語のうち、重箱読み、湯桶読みの熟語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 歌声	イ 番組	ウ 信頼	エ 荷物
オ 仕事	カ 着物	キ 手本	ク 開閉

和語	漢語	外来語
ア	奇術	マジック
くだもの	イ	フルーツ
おくりもの	ウ	プレゼント

〔問三〕次の漢詩について、後の（一）～（四）に答えなさい。

なお、解答の際、「前」「舉」「鄉」は、それぞれ「前」「挙」「郷」と書いてよい。

A

B

(一) この漢詩の形式を漢字四字で書きなさい。

(二) この漢詩の押韻について説明しなさい。

(三) ——線①の意味を、使われている表現技法を踏まえて書きなさい。

(四) ——線②を書き下し文にしなさい。

〔問四〕第一学年「書写」の行書の学習の導入場面で、楷書Aと行書Bの二つの文字を比較して、行書の特徴を捉える学習を展開する。生徒が視覚的に楷書と行書の違いについて捉えられるように、解答用紙の（例）にならい、行書の特徴をあと二つ追記しなさい。

[問五]	[問四]	[問三]	[問二]	[問一]

國語
解答用紙
2枚中の1
受験番号
中国語
氏名

国語	解答用紙
2枚中の2	
受験番号	
中国語	
氏名	

(7年)

三

[問一]
[問二][問三]
[問四]

四

[問一]
[問二]湯桶読み
重箱読み

ア

イ

ウ

[問一]
[問二](1)
【支援】
生徒(2)
【理由】
意見(3)
【理由】
意見

[問四]

①点画に
丸みがある

(例)

丸みがある

A
緑

B

緑

[問三]
[問四](四)
(三)
(二)
(一)

以下はあくまでも解答の一例です

国語	解答用紙
2枚中の1	
受験番号	
中国語	
氏名	

(7年)

[問五]	[問四]	[問三]	[問二]	[問一]	二
AもBも月の美しさに心引かれていたように、時代が変わつても変わらない、ものの見方や考え方があることに気付かせ、古典への興味、関心を高めるため。	ふしなん	作者ともう一人の女房が春と秋で意見が分かれ、どちらに味方してよいかわからず困ったため。	a	ウ	5点
10点	4点	7点	4点	4点	

[問七]	[問六]						[問五]	[問四]	[問三]	[問二]	[問一]	一
(一)	(二)	く	験	で	な	に	B	オ	一	ウ	退歩	
	別	れ	の	は	世	軸	で		人			
	に	る	価	読	界	を	は		で		4点	4点
	本	も	書	書	へ	与	読		い			
	の	の	を	を	と	え	書		だ			
	て	と	高	、	導	、	を		。			
	い	し	め	疑	い	人	、					
	る	て	た	似	て	を	本					
	6点	い	り	体	く	不	当					
		る	し	驗	れ	自	の					
		。	て	を	る	由	一					
		、	可	も	な	知						
		等	人	能	の	世	一					
		格	に	と	界	を						
		を	し	し	か	も						
		大	た	て	ら	た						
		き	り	い	真	ら						
	12点	く	、	る	に	し						
		し	実	。	自	、						
		て	体	C	由	人						
		120字	100字									

4点×3

以下はあくまでも解答の一例です

国語	解答用紙
2枚中の2	
受験番号 中国語	
氏名	

(7年)

三

〔問二〕

単元の課題解決の過程における本時の位置付け。 等

6点×2

〔問二〕

「新入生に伝える学校の魅力を決める」という話合いの目的を常に意識すること。

6点×2

〔問二〕

互いの考えを結び付けながら建設的に話し合うこと。

6点×2

〔問二〕

適切なフィードバックを行い、生徒が次時の話合いにおける発言の改善に生かすことができるようにする。

7点×2

〔問二〕

【理由】
「新入生に伝える学校の魅力を決める」という単元の課題に対し、②の「合唱祭」の根拠は魅力を伝える根拠となつていいないとため。 等

【理由】
自分の意見のみを主張し、友達の意見と結び付けて内容を整理したり、考えをまとめておりする姿が見られないため。 等

7点×2

〔問二〕

【支援】
魅力を三つに絞るという目的を一緒に確認した上で、友達の意見のよい部分と自分の意見とを結び付けながら考えをまとめ、発言するよう助言する。 等

7点

〔問二〕

話合いの際に確認するポイントの見直し等、自身の授業改善に生かすことができるようにする。

7点×2

四

〔問二〕		〔問二〕	
	湯桶読み	重箱読み	イ、オ
	湯桶読み	イ、キ	

完答 4点×2

〔問二〕

手品等

イ

果実等

ウ

進物(贈答品)

等

〔問二〕

4点

〔問二〕

(一) 第一、二、四句末が光(コウ)、霜(ソウ)、郷(キョウ)で○○という音で韻を踏んでいる。 等 6点

6点

〔問二〕

(二) (比喩が使われており、)月の光がまるで地上に降りた霜ではないかと思つたという意味。 等 6点

6点

〔問二〕

(三) 頭を低れて故郷を思ふ

5点

A

(例)
①点画に丸みがある
②点画が連続している
③筆順が変化している

B

〔問四〕

等

4点×2